

平成 25 年度 事業 報告

第 1 都市及びその周辺部における良好な居住環境の整備促進並びに地域住民のふれあいの場と機会の提供を目的とする都市環境整備事業

1 まちづくりに関する技術や知識を研究・蓄積するとともに、研修会等を通じてそれらを積極的に市町村や関係団体へ公開・提供するまちづくり普及啓発事業及び土地区画整理事業や都市計画事業を促進する支援事業関係

(1) 都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する調査研究、企画及び啓発事業

ア 初動期における地域のまちづくりを支援するため、まちづくり計画推進業務として、市町等に対して、4 件業務支援した。

イ 都市計画、都市計画事業、土地区画整理事業の企画及び啓発

関係市町村と連携を図り、豊橋市を始め 43 市町村及び豊橋牛川西部土地区画整理組合始め 40 組合並びに 8 準備組合等の参加を得て、研修会、地区研究会及び講習会等を開催し、助言及び指導を行った。

① 市町村職員土地区画整理研修会

県職員等を講師に迎え、市町職員を対象として、土地区画整理事業の全般について研修会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
25 年 8 月 28 日) 25 年 8 月 29 日	ウインクあいち (愛知県産業労働 センター)	174 名	・ 区画整理総論始め 6 件 ・ 都市再生整備計画事業について ・ ささしまライブ 24 の開発始め名古屋市の事例紹介 2 件 ・ 土地区画整理法と税務の取扱い

② 土地区画整理地区研究会

愛知県を尾張地区、三河地区に分け、市町職員、組合役員及び準備組合代表者を対象として、地区別に研究会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 議 題
○三河地区 25 年 10 月 23 日	みよし市役所	77 名	・ 新市街地の防犯・安全なまちづくり ・ 事例発表 (三好根浦特定土地区画整理事業)
○尾張地区 25 年 10 月 29 日	常滑市役所	93 名	・ 中部臨空都市の現状 ・ 事例発表 (常滑多屋土地区画整理事業)

③ 駅周辺まちづくり事業研究会

駅周辺において事業を実施または予定している市町職員を対象として、駅周辺まちづくり事業の知識

向上と意見交換を図る研究会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 議 題
25年11月29日	安城市桜井福祉センター	86名	<ul style="list-style-type: none"> ・安城桜井駅周辺地区土地区画整理事業について ・桜井駅周辺地区のまちづくりについて ・南明治地区土地区画整理事業について ・中心市街地拠点整備事業について ・現地視察（安城桜井駅周辺地区、安城南明治地区）

④ 土地区画整理講習会

土地区画整理組合役員及び準備組合代表者等を対象として、土地区画整理に関する知識向上を図ることを目的として講習会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 内 容
26年1月23日	ウインクあいち（愛知県産業労働センター）	152名	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢」のある土地区画整理事業 ・組合の経営改善について ・消費税の税率等改正について

⑤ まちづくりプラスα講習会

市街地整備などまちづくりを進めている市町職員を対象として、都市を取り巻く様々な課題を解決するための有益な情報提供及び意見交換を図ることを目的として講習会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 内 容
26年3月24日	ウインクあいち（愛知県産業労働センター）	108名	<ul style="list-style-type: none"> ・都市空間のサステナブル・リノベーション ・太田川駅周辺地区リノベーション事業について ・官民連携によるまちづくりについて ・既成市街地の再生・都市の再構築に向けた都市再生整備計画事業の活用について

⑥ 市町村職員震災復興土地区画整理研修会

土地区画整理を担当している県及び市町村職員を対象として、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北地方太平洋沿岸市町に赴き、直接関係者から話を聞くことにより、懸念される南海トラフ等巨大地震の発生に備え、震災復興土地区画整理事業に関する知識・危機管理能力の向上を図ることを目的として研修会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 内 容
25年9月2日 ） 25年9月3日	宮城県石巻市 宮城県七ヶ浜町 岩手県陸前高田市	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻市事業概要説明及び現地調査 ・七ヶ浜町事業概要説明及び現地調査 ・陸前高田市事業概要説明及び現地調査

⑦ 市町村職員土地区画整理研修会現地視察

土地区画整理を担当している市町村職員を対象として、他府県の土地区画整理を含めたまちづくりの

先進事例を直に学ぶことにより、土地区画整理を含むまちづくりに関する知識向上を図り、その後の円滑な事務執行を図ることを目的として現地視察を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
25年11月6日	岐阜県高山市役所 J R高山駅周辺 高山市中心市街地	56名	・高山駅周辺整備事業について ・高山市歴史的風致維持向上計画について ・現地視察（J R高山駅周辺、三町伝建地区等）

ウ 土地区画整理事業等の業務運営に関する諸問題について、日進米野木駅前特定土地区画整理事業始め24案件に対して、相談等に応じるとともに指導を行った。

(2) 都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する業務支援

市町及び土地区画整理組合から依頼された土地区画整理事業等の業務支援実績は、次のとおりである。

区 分	地方公共団体		土地区画整理組合		計	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
設計関係業務	11	75,484,500	5	14,925,750	16	90,410,250
換地関係業務	7	17,273,550	11	66,415,755	18	83,689,305
実施設計及び 工事積算業務	8	61,220,250	10	37,846,200	18	99,066,450
運 営 業 務	0	0	5	19,585,650	5	19,585,650
合 計	26	153,978,300	31	138,773,355	57	292,751,655

○業務支援団体数及び地区数

区 分	団 体 数	地 区 数
地方公共団体	10	16
土地区画整理組合	12	12
合 計	22	28

(3) 愛知県土地区画整理組合連合会等各種団体に関する事務

組合土地区画整理事業を促進させるため、47 会員（平成 26 年 3 月末現在）の集まりである愛知県土地区画整理組合連合会の事務局として、各種会議と研修会、講習会を通じ、啓発及び指導を行った。

この他に、中日本ブロック協議会事務局、全日本土地区画整理士会愛知県支部事務局を担っており、同じく啓発及び指導を行った。

(4) 公共工事の技術水準向上を図るための建設技術の普及啓発事業

ア 愛知県との共催による建設技術研修（共催研修）

県市町村等職員を対象として、愛知県との共催により建設技術研修を開催した。

月 日	会 場	人員	研 修 内 容
25年5月28日 ～ 25年11月12日 延べ22日間	愛知県東大手庁舎 及び愛知県自治研 修所	558名	・土木積算施工管理研修始め13研修

イ 県市町村等職員を対象とする建設技術講習会（現場講習会）

月 日	見 学 先	人員	主 な 内 容
25年11月27日	三重県津市 [津松阪港] 同県員弁郡東員町 [東海環状自動車道] 同県桑名市 [輪中の郷]	39名	津松阪港 ・防波堤工事に用いる巨大ケーソンの製作状況 東海環状自動車道 ・連続高架橋梁の下部工工事の施工状況 輪中の郷 ・輪中をテーマにした歴史民族資料館の見学
26年2月3日	静岡県袋井市 [湊命山] 同県御前崎市 [浜岡原子力発電所]	78名	湊命山 ・人工高台の津波一時避難施設の見学 浜岡原子力発電所 ・浜岡原子力発電所の津波対策工事の施工状況

ウ その他研修

① CAD研修

共催研修の際に参加者に行っているアンケートにおいて実施要望が高いことから、市町村等の職員を対象に技術力向上を図るため開催した。

月 日	会 場	人員	研 修 内 容
26年1月27日 ～ 26年2月6日 延べ4日間	(株)大塚商会 中部支店 αラーニング センター名古屋	39名	初級 ・AutoCAD 初心者を対象に基本的な操作方法の説明 中級 ・初級受講相当者を対象に応用的な操作方法の説明

② 土木技術講習会（復興まちづくりに関する講演会）

被災地の復興計画策定に携わる東北大学教授等を講師に招き、一般参加者や県市町村等の職員を対象に講演会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 内 容
26年1月15日	東建ホール・丸の内 (東建本社 丸の内ビル)	184名	・被災地における復興まちづくりの取り組み状況等の説明

(5) 県市町村に対する公共事業にかかる情報提供・技術支援

ア 公共事業の技術支援

橋梁長寿命化修繕計画技術支援業務 981 橋を小牧市始め 14 市町に対して支援した。

イ 公共工事の積算技術に係る情報提供及び技術支援

① 土木設計単価配信等業務

パソコンを用いる積算業務に必要な単価等を電算データベース化し、豊橋市始め 53 市町村及び 11 団体に対して、積算単価の情報提供を行った。

なお、瀬戸市始め 23 市町村及び 4 団体に対しては、パソコン用積算ソフトも提供し、積算業務が円滑に機能するよう支援した。

② 積算支援業務

県及び市町村が発注する積算資料作成業務委託において、建設コンサルタント等が作成する金抜き設計書の作成指導、変換・登録、積算資料の提供を行う業務であり、国道 473 号 道路改良工事（岡崎市 檜山町地内）を始めとして、計 283 件の業務を行った。

また、市町村及びコンサルタント等に対して、積算基準及び歩掛表（その 1）・（その 2）始め 4 図書、計 471 部を販売した。

○ 事業収益

業 務 区 分	金 額 (円)
公共事業の技術支援業務	41,202,000
積算業務	64,521,684
土木設計単価配信等業務	42,550,704
積算支援業務	21,970,980
合 計	105,723,684

2 緑とオープンスペースの場である公園施設を地域交流のための多様な活動の拠点として、地域住民にふれあいの場と機会を提供する事業

(1) ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する都市公園施設を活用し、安らぎを感じさせる身近な自然空間、レクリエーションの場を提供することに努めた。

ア 施設の概要

公園名 [管理面積] (管理事務所名)	公園内の主な施設	
	有料施設	無料施設
愛・地球博記念公園 [1,494,041㎡] (愛・地球博記念公園管理事務所)	<p>サツキとメイの家 茶室 アイススケート場(屋内施設) 水泳場(屋内施設(一部屋外) 5水槽、スライダー3基) 駐車場(3箇所) 多目的広場(夜間照明付) 野球場(3面) 地球市民交流センター (体育館、体験学習室3室、多目的室 4室、多目的スタジオ3室) サイクリングコース(貸自転車) 庭球場(人工芝8面(夜間照明付) 内2面庭球場兼フットサル場) 多目的球技場(天然芝1面)</p>	<p>愛・地球博記念館 こどものひろば 日本庭園 林床花園 親林楽園 大芝生広場 フィールドセンター 花の広場 西エントランス広場 グローバルループ あいちアートスクエア フレンドシップ広場 食の広場 あいちサトラボ</p>
牧野ヶ池緑地 [742,958㎡] (牧野ヶ池緑地管理事務所)	-	<p>ゲートボール場(4面) 自由広場 芝生広場 多目的広場 児童野球コーナー</p>
大高緑地 [1,006,005㎡] (大高緑地管理事務所)	<p>ゴーカート(単席、複席) 野球場(3面) 庭球場(全天候型14面) 水泳場(屋外施設4槽) デイキャンプ場</p>	<p>児童野球場(1面) グラウンドゴルフ場(1面) 桜の園 四季の園 多目的広場 芝生広場 ドッグラン</p>
小幡緑地 [762,361㎡] (小幡緑地管理事務所)	<p>野球場(西園1面、東園1面) 庭球場(西園人工芝10面、 全天候型2面) 球技場(西園1面) トレーニング施設(西園)</p>	<p>児童野球場(東園1面) ゲートボール場(本園3面、東園1面) 児童広場(西園) 芝生広場(本園、西園、東園) 児童園(本園、東園) 野鳥観察の森(中央園) 水生園(中央園)</p>
新城総合公園 [643,338㎡] (新城総合公園管理事務所)	<p>野球場(1面) 庭球場(人工芝6面) 競技場(1面) 陸上競技場(1面) 弓道場(近的12人立、遠的6人立)</p>	<p>自由広場 芝生広場 子供広場 展望広場 わんぱく広場 ニュースポーツ広場 屋根付き広場</p>

公園名 [管理面積] (管理事務所名)	公園内の主な施設	
	有料施設	無料施設
尾張広域緑道 [270,446㎡] (尾張広域緑道 管理事務所)	遊戯用自転車 トレーニング施設 体育室 体育館	多目的広場 展望塔 ディスクゴルフ (9ホール)
あいち健康の森公園 [429,248㎡] (あいち健康の森公園 管理事務所)	庭球場 (人工芝11面、 内4面夜間照明付) 球技場 (1面) 体育館 会議室 ベビーゴルフ場 (9ホール)	大芝生広場 健康ロード 交流センター 生きもの達の谷 いのちの池 子どもの森
東三河ふるさと公園 [1,243,188㎡] (東三河ふるさと公園 管理事務所)	—	修景庭園 展望ツツジ園 三河山野草園 ピクニック園地 三河郷土の谷 憩いの広場 東三河あそび宿 桜の広場

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安全・快適に公園を利用できるように、公園内の施設・機器等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 公園の利用環境を整えるため、除草、清掃等の業務を行った。
- (ウ) 公園内の施設の損傷や異常を発見し、早期に必要な措置を講じるため、巡視業務を行った。
- (エ) 施設の利用受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を関係規程に基づき適正に行った。

○ 施設利用収益

公園名	金額(円)
愛・地球博記念公園	439,492,943
大高緑地	24,651,750
小幡緑地	10,488,554
新城総合公園	3,826,710
尾張広域緑道	5,478,790
あいち健康の森公園	13,680,400
合計	497,619,147

(オ) 窓口や電話等による利用者からの施設利用の問い合わせに対し、ウェブページ、パンフレットなどを活用し適切に案内業務を行った。

ウ 利用者の便宜向上を図る取り組み

(ア) 愛・地球博記念公園内に、飲食品提供や記念品販売のための売店を愛知県の許可を受けて、10店舗設置した。

(イ) 8県営都市公園内に、清涼飲料水等を販売するため自動販売機を愛知県の許可を受けて、145台設置した。

(ウ) 大高緑地内で、愛知県の許可を受けて、家族等グループで楽しめる18ホールのベビーゴルフ場の運営に努めた。

(エ) 4県営都市公園内（大高緑地、新城総合公園、尾張広域緑道、あいち健康の森公園）に、愛知県の許可を受けて、未就学児童が楽しめるミニカー場の運営に努めた。

(オ) 牧野ヶ池緑地の多目的広場に愛知県が設置した夜間照明設備について、愛知県の許可を受けその運営に努めた。

(カ) 愛・地球博記念公園内で、愛知県の許可を受け、園内の移動手段を補完し、利用者を楽しんでもらえるパークトレインの運行を実施し、その適切な運営に努めた。

○ 事業収益

施設名	金額 (円)
売店収益	13,004,235
自動販売機販売手数料	26,888,634
施設利用収益	13,038,850
ベビーゴルフ場	5,104,000
ミニカー場	7,478,600
夜間照明設備	385,000
その他	71,250
合計	52,931,719

(2) ふれあいの機会を提供する事業

ア 多くの人に公園を利用し、楽しんでもらえるように、季節の花まつりやウォーキング、工作教室等、様々なイベントを開催した。

○ 協会企画イベント

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
25年4月1日 ～ 26年3月31日	愛・地球博記念公園 始め8公園	821回	115,807人

主なイベント

- ・モリコロパーク夏まつり（愛・地球博記念公園）
- ・秋まつり（牧野ヶ池緑地、大高緑地、小幡緑地、新城総合公園）
- ・ほたる鑑賞会（小幡緑地・あいち健康の森公園）
- ・秋の感謝祭（東三河ふるさと公園）

○ 地球市民交流センター提供プログラム

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
25年4月1日 ～ 26年3月31日	愛・地球博記念公園	854回	198,930人

主なプログラム

- ・落ち葉のしおりづくり
- ・ノルディックウォーキング
- ・パートナーフェスティバル

○ 企業等持込イベント

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
25年4月1日 ～ 26年3月31日	愛・地球博記念公園 始め8公園	278回	912,878人

主なイベント

- ・全日本うまいもの祭り（愛・地球博記念公園）
- ・緑区制50周年記念事業 感動・夢まつり（大高緑地）
- ・新城ラリー（新城総合公園）
- ・あいち県民健康祭（あいち健康の森公園）

イ 公園の紹介を始めとする情報発信として、パンフレットの作成や、ウェブページ及びポスター等を活用し、幅広く広報活動を行った。

第2 水辺における安心・安全の確保及びふれあいの場と機会の提供を目的とする港湾環境整備事業

(1) ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する海陽ヨットハーバーを地域交流のための多様な活動の拠点として活用し、マリンスポーツを通じて海洋に対する興味や関心を高めるとともに、水辺における安心・安全なふれあいの場を提供することに努めた。

ア 施設の概要

施設名 [管理面積] (管理事務所名)	ハーバー内の主な施設	
	有料施設	無料施設
海陽ヨットハーバー [陸域 55,700㎡] [水域 32,700㎡] (海陽ヨットハーバー 管理事務所)	野積場 (18,203.62㎡) 艇庫 (1,053.91㎡) 固定式起重機 (1基) 移動式荷役機械 (1台) 附属ヨット (50艇) 給水施設 (45基) 船具用ロッカー (28個) 会議室 (2室)	ロッカー (232個) シャワー (16基)

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安全快適に施設を利用できるよう各施設の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 利用者の安全確保、事故防止のため、職員による定期的な施設の巡視を行った。
- (ウ) 施設利用の受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を適切に行った。
- (エ) 施設利用の適正化を図るとともに出港艇の監視業務を行った。
- (オ) ウェブページ、パンフレットなどを活用した施設利用の案内業務を行った。

○施設利用収益

施設名	金額(円)
海陽ヨットハーバー	24,516,350

(2) ふれあいの機会を提供する事業

海陽ヨットハーバーを活用し、ふれあいの機会を提供するために、次の事業を行った。

ア ヨット教室の開講

マリンスポーツとしてのディンギー型ヨットに関する知識・操船技術などをより多くの方に習得してもらうため、ヨット教室を開講した。

月 日	実施回数	人員	内 容
25年6月2日 く 25年10月5日	58回	81名	<ul style="list-style-type: none"> ・操船体験コース ・短期習得コース ・レベルアップコース ・実技コンテスト

イ ヨットレースの開催事業

多くの方にヨット競技のできる機会を提供するとともに施設利用者の増大を図るため、ヨットレースを開催した。

月 日	実施回数	人員	内 容
25年8月25日 く 26年2月9日	5回	362名 (215艇)	<ul style="list-style-type: none"> ・海陽ジュニアカップ ・海陽ミッドウィンターレガッタ ・理事長杯ヨットレース

ウ ヨット体験乗船会の開催事業

ヨットの普及活動としてヨット体験乗船会を開催した。

月 日	実施回数	人員	内 容
25年7月15日 く 25年8月7日	5回	96名	<ul style="list-style-type: none"> ・海の日記念ヨット体験乗船会 ・小学生ヨット体験乗船会

エ その他海洋レクリエーションに関する広報活動等

ウェブページなどによりヨット教室、レース及び体験乗船会の開催案内・実施報告を行った。

(3) 水辺における安心・安全を確保する事業

海陽ヨットハーバーを活用し、誰もが利用できる安心・安全な魅力ある水辺を提供するため、海難救助・消防訓練等を行い海難事故防止に備えた。また、衣浦・三河の両港湾において、港湾施設の管理を行うとともに、国際貨物船舶等に対する給水業務を行い、乗組員の生命・身体の安全等を確保に努めた。

ア 衣浦港・三河港の港湾施設

港 名 (担当事務所名)	施 設 名
衣 浦 港 (衣浦港事務所)	上屋 (1棟) 給水施設 (4地区)
三 河 港 (三河港事務所)	上屋 (2地区5棟) 貯木場 (1カ所) 木材整理場 (1カ所) 給水施設 (2地区)

イ 業務の概要

- (ア) 上屋等の施設・設備等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 施設の安全管理のため、職員による定期的な巡回点検を行った。
- (ウ) 上屋等の施設利用申請書類の整理などの補助事務を行った。
- (エ) 船舶給水施設の水质検査を適切に実施するとともに入港船舶に対する給水作業を円滑に行った。

第3 愛知県都市緑化基金を活用し民有地の緑化推進への助成及び都市緑化に関する普及啓発を行う都市緑化基金事業

(1) 愛知県都市緑化基金の管理及び運用

安全確実な方法により基金を管理し地方債による運用を行った。

(2) 愛知県都市緑化基金による都市緑化推進事業

ア 市町村等が設置した都市緑化を推進する基金で行う都市緑化推進事業への助成事業を行った。

岡崎市（民有地緑化助成事業・生垣、保存樹・保存樹林の維持管理助成事業、樹木配布事業、花のまちづくり事業）

瀬戸市（民有地緑化助成事業・生垣、花のまちづくり事業）

刈谷市（民有地緑化助成事業・生垣、保存樹・保存樹林の維持管理助成事業）

安城市（樹木配布事業）

大府市（民有地緑化助成事業・生垣、保存樹・保存樹林の維持管理助成事業、樹木配布事業、花のまちづくり事業）

知多市（保存樹・保存樹林の維持管理助成事業）

長久手市（樹木配布事業）

公益財団法人豊橋みどりの協会（樹木配布事業）

イ 都市緑化に関する普及啓発事業

(ア) 第25回あいち都市緑化フェアを愛知県と共同で開催した。

日 時 平成25年4月29日（月・祝） 午前10時から午後3時まで

場 所 県営大高緑地（名古屋市緑区）

主 催 公益財団法人愛知県都市整備協会 [愛知県都市緑化基金]、愛知県

後 援 国土交通省中部地方整備局、東海旅客鉄道株式会社、公益財団法人都市緑化機構、中日新聞社、名古屋鉄道株式会社

協 賛 一般社団法人愛知県造園建設業協会、大高緑地観光協会 他 5 団体

協力団体 特定非営利活動法人MF A、鳴海・有松商工会 他 26 団体

参加者 13,000 人

(イ) ふるさと満喫まつり 2013 を愛知県と共同で開催した。

日 時 平成 25 年 9 月 29 日 (日) 午前 10 時から午後 4 時まで

場 所 県営東三河ふるさと公園 (豊川市)

主 催 公益財団法人愛知県都市整備協会 [愛知県都市緑化基金]、愛知県

後 援 豊川市、豊橋市、蒲郡市、田原市、国立大学法人豊橋技術科学大学、東三河広域協議会、
公益財団法人愛知水と緑の公社、名古屋鉄道株式会社

協 賛 豊川市観光協会、豊橋鉄道株式会社 他 2 団体

参加者 5,000 人

(ウ) 平成 25 年の都市緑化月間・都市景観の日連携行事に愛知県及び豊川市が開催した「緑豊かな美しい
愛知づくり講演会 2013in 豊川」に協賛し、広報・啓発活動を行った。

日 時 平成 25 年 11 月 19 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 5 時 10 分まで

場 所 豊川市勤労福祉会館

主 催 愛知県、豊川市

協 賛 公益財団法人愛知県都市整備協会 [愛知県都市緑化基金]、愛知県都市計画協会

講演第 1 部「景観からのまちづくり」

講 師 東京大学教授 堀 繁 氏

講演第 2 部「体感から考える 緑を活かしたまちづくり」

講 師 株式会社チームネット代表取締役 甲 斐 徹 郎 氏

参加者 90 人

(エ) ホームページに基金の概要及び事業案内を掲載するとともにパンフレットの配布を行い、緑化基金
の PR に努めた。

第 4 法人運営関係

1 理事会

平成 25 年 4 月 1 日 (月)

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の選定並びに評議員会の招集・開催及び目的である事項」の件

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

平成25年6月11日（火）

開催場所 協会会議室

決議事項 平成24年度事業報告及び事業報告の附属明細書について、平成24年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）について、定時評議員会の招集について

報告事項 平成25年4月以降の職務執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席2名。監事出席2名。

平成26年3月18日（火）

開催場所 協会会議室

決議事項 平成26年度事業計画について、平成26年度収支予算について、平成26年度資金調達及び設備投資の見込みについて、財務規程及び都市緑化基金業務方法に関する規程の一部改正について、評議員会の招集について

報告事項 平成25年6月以降の職務執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席2名、監事出席2名

平成26年3月25日（火）

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「評議員会の招集・開催及び目的である事項」の件

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

2 評議員会

平成25年4月3日（水）

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「常勤役員及び非常勤監事の報酬の支給額決定」の件

出席等 提案書に対し評議員全員から書面による同意の意思表示を得て、評議員会の決議があったものとみなされた。

平成 25 年 6 月 26 日 (水)

開催場所 協会会議室

決議事項 平成 24 年度事業報告及び事業報告附属明細書について、平成 24 年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）について

出席等 決議に必要な評議員の数 7 名、出席 9 名、欠席 3 名、監事出席 2 名、理事出席 3 名

平成 26 年 3 月 27 日 (木)

開催場所 協会会議室

決議事項 平成 26 年度事業計画について、平成 26 年度収支予算について、平成 26 年度資金調達及び設備投資の見込みについて、定款の一部変更について、役員の報酬額の決定について

出席等 決議に必要な出席評議員の数 6 名、出席 10 名、欠席 1 名、監事出席 2 名、理事出席 3 名

平成 26 年 3 月 27 日 (木)

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「評議員及び理事の選任」の件

出席等 提案書に対し評議員全員から書面による同意の意思表示を得て、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査

(1) 決算監査

事前監査 平成 25 年 5 月 27 日 (月)

監査会 平成 25 年 6 月 4 日 (火)

場 所 協会会議室

監査事項 平成 24 年度事業報告及び事業報告の附属明細書、平成 24 年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）

(2) 期中監査

第 1 四半期 平成 25 年 8 月 6 日 (火)

第 2 四半期 平成 25 年 11 月 7 日 (木)

第 3 四半期 平成 26 年 2 月 13 日 (木)

4 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 27 条第 1 項に基づく立入検査

平成 25 年 12 月 18 日 (水)

平成25年度事業報告の附属明細書

平成25年度事業報告には、公益財団法人愛知県都市整備協会定款第9条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成しない。